

暫定規制値を超えた放射性セシウムが検出された玄米について

平成23年12月7日
水田畑作課

二本松市旧渋川村で生産された平成23年産米で、暫定規制値を超える放射性セシウムが検出された。

1 検査結果

単位：ベクレル／kg

種 類	放射性セシウム合計	放射性セシウム134	放射性セシウム137
玄 米	780	330	450

2 当該農家の生産状況

作付面積：85a

当該ほ場：19a 収穫量：35袋(30kg) 品種：コシヒカリ

他地区ほ場：66a 収穫量：2,895kg 品種：コシヒカリ

3 経 過

(1) 12月6日に二本松市旧渋川村で生産された玄米を、二本松市放射性物質測定センターの簡易分析器(NaIシンチレーションγ線スペクトロメータ)で分析した結果、暫定規制値を超える値が検出された。

(2) 市から連絡を受け、県は、この生産者の玄米をサンプリングし、本日までに県農業総合センターで分析を行った結果、暫定規制値を超える780ベクレル／kgの放射性セシウムが検出された。

4 当該ほ場の米の状況

当該ほ場で生産された米は、全量、生産者の自宅及び近隣農家に保管されている。

また、他地区ほ場で生産された米についてもライスセンターで保管されており、出荷されておらず、一般に流通はしていない。

5 二本松市旧渋川村の状況

稲作農家数：248戸

水稲作付面積：243ヘクタール

生産量(推定)：1,250トン

二本松市全体 稲作農家数：3,330戸 水稲作付面積：2,123ヘクタール)

6 今後の対応

(1) 二本松市に対しては、旧渋川村で生産された米の出荷を自粛するよう要請する。

(2) 二本松市と協議し、旧渋川村における米放射性物質緊急調査を早急に進める。

【参考】

単位：ベクレル／kg

種 類	放射性セシウム合計	放射性セシウム134	放射性セシウム137
白 米	370	160	210